

地域ネットワークニュース

～令和5年5月の勉強会のお知らせ & 令和5年4月の勉強会報告～

第275回 地域ネットワーク勉強会

地元精神科医に聞く！！

～ストレスと精神疾患の関係性～

講師：児玉医院 副院長 児玉 知之氏(精神保健指定医)

日時：**5月19日(金)**

時間：午後7時～午後8時30分

場所：保健・福祉会館2階 研修室

定員：**50名(要事前予約)**

統合失調症やうつ病、適応障害といった精神疾患は誰にでも起こりうる可能性のある病気です。これらの精神疾患は、適切な治療の継続や家族など周囲の方の理解が得られることで症状の軽減に繋がります。そのため、周囲の人が精神疾患についての正しい知識を持ち、理解していくことが大切となります。進学や就職、職場の変更・異動に伴い新しい環境で生活をスタートし1ヶ月が経過する5月頃(ゴールデンウィークが終わった後)は、知らないうちにストレスをため込み、身体のだるさ、意欲低下、食欲不振など、特に心身の不調が起こりやすい時期とされています。



そこで今回の勉強会では神栖市で精神科医としてご活躍されている児玉医院の児玉知之先生をお招きし、統合失調症やうつ病などの代表的な精神疾患の初期症状、治療方法や服薬の重要性、精神疾患に罹患しないための予防策などを精神科医の視点でお話しいたします。当事者やその家族の方、対人援助職の方など多くの方のご参加をお待ちしています。

会場には情報提供・紹介コーナーを設けています。福祉や医療に関する事業所等のパンフレットやチラシ、研修会のご案内など、配布、展示いたします。当日のご持参でもかまいません。みなさまからの情報をお待ちしています。

申込・問合せ先 神栖市社協 地域福祉総合相談センター 担当 川田、三浦 電話 0299-93-0294

第274回 地域ネットワーク勉強会報告

令和5年4月20日開催 <参加者59名>

幼児期における発達障害の理解

～「気づき」から「支援」につなぐポイント～

講師：茨城県発達障害者支援センター COLORSつくば

枝松 慎次郎氏(公認心理師・臨床心理士)



今回の勉強会では、茨城県より発達障害者支援センターの委託を受け、鹿行地区を管轄として相談支援を行うCOLORSつくばで発達支援を担当している枝松氏をお招きし、幼児期の発達障害の支援における「気づきから支援につなぐポイント」をテーマにお話しいたしました。講義の中では、発達障害者支援センターの紹介をはじめ発達障害の基礎知識、支援・対応の基本について「具体的」という言葉をキーワードに支援者が支援の場面をイメージしやすいようにお話しいたしました。

支援者の「気づき」のステップとしては、①「困る(違和感)を探す=周りとは比べること、②担当している年齢の子どもはどのような時期なのかを知り、年齢に合った発達段階と比べることの2つのステップが紹介されました。①については比べることによって一方が劣っているなどネガティブな対応になるのではなく、あくまでも困りごとを探すために比べること、②については発達段階の定型から外れているからと言って問題ととらえるのではなく、その子の特性と環境がマッチしていないというような視点でとらえることが大切になるとのことでした。勉強会終了後には数多くの参加者が講師の枝松氏と名刺交換や情報交換する場面も見られ、一つの会場に集まり同じ学びを共有し、ネットワークを広げるといった地域ネットワーク勉強会の醍醐味が感じられました。